



■ 目次

PwCが2008年英国財政法の財務報告への影響を議論
PwCがFASBおよびIASBに対しヘッジ会計の主要な変更点について共同作業を行うことを提言
PwCが内部統制システムの監視に関するCOSOのガイダンス案を支持; さらなる内容の充実を提言
SECがEDGARデータベースの後継システムを公表
FASB関連記事

■ PwCが2008年英国財政法の財務報告への影響を議論

7月21日、英国は2008年財政法を制定しました。英国の法人所得税の課税対象となる企業は財務会計上の影響を受ける可能性があり、この法律が制定された期間(すなわち12月決算会社においては第3四半期)において会計処理が必要となります。最も大きな影響としては、産業用および農業用の建物に係る税務上の減価償却費の4年間にわたる段階的な廃止が要求されています。

DataLine 2008-18において、プライスウォーターハウスクーパース(PwC)は英国税法の会計的影響について論じています。PwCは、これらの産業用および農業用の建物についての繰延税金に関する新しい税法の影響の会計処理には2つの許容可能な選択肢があると考えています。

▼ CFOdirect NetworkのメンバーはこのDataLineの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=AALN-7HNLFQ&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

■ PwCがFASBおよびIASBに対しヘッジ会計の主要な変更点について共同作業を行うことを提言

PwCは米財務会計基準審議会(FASB)に対して財務会計基準書案「ヘッジ活動の会計処理—FASB基準書第133号の修正」に関するコメントレターを提出しました。PwCはヘッジ活動の会計処理を簡易化し財務諸表利用者のために透明性を向上させようとするFASBの全体的な試みを支持する一方で、この基準案により米国で一般に公正妥当と認められた会計原則(US GAAP)と国際財務報告基準(IFRS)との間にさらなる差異を作り出してしまうことを懸念しています。国際会計基準審議会(IASB)では、IFRSに基づいたヘッジ会計の簡易化のための可能な方法を検討する「金融商品のレポーティングの複雑性の削減」と題したディスカッション・ペーパーを公表しています。US GAAPとIFRSとの間に重要な新しい差異を作り出すリスクを最小化するため、PwCはFASBとIASBがヘッジ会計のあらゆる主要な変更について共同作業を行うことを提言しています。

また、このコメントレターの中でPwCはFASB案に関するその他いくつかの懸案事項を指摘しています: すなわち、(1)金融資産および金融負債についての「リスクごとの分割」モデルの切捨て、(2)新たに設けられた「合理的に有効」という基準値をめぐる明確性の欠如、(3)キャッシュ・フローのヘッジ不足に関する非有効性の認識要件、(4)予定内部取引に関するヘッジのためのガイダンスの変更等です。

▼ CFOdirect Networkのメンバーはこのコメントレターの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=EDYR-7HK6QB&SecNavCode=ASPP->

■ PwCが内部統制システムの監視に関するCOSOのガイダンス案を支持; さらなる内容の充実を提言

今週、トレッドウェイ委員会組織委員会(COSO)に提出したコメントレターにおいて、PwCはCOSOの公開草案「内部統制システムのモニタリングに関するガイダンス」に対する全面的な支援を表明しました。PwCはCOSOの「内部統制—統合フレームワーク」のモニタリング要素のより良い理解が内部統制システムの有効性と効率性を強化すると考えます。

PwCは、2007年9月に公表された討議文書以降この公開草案に加えられた修正および内容の強化により、有用性に顕著な改善があったと指摘しています。また、このガイダンスの有効性をさらに充実させるため、PwCはモニタリング・コントロールの目的の説明を改善するように文書を改訂することを提案しています。さらに、ガイダンスの有効性をさらに充実させることのためのその他いくつかの提案もこのコメントレターの中で提供しています。

▼ CFOdirect Networkのメンバーはこのコメントレターの全文を以下のウェブサイトからご覧いただけます。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=EDYR-7HK5R6&SecNavCode=USAS-6L82AB&ContentType=Content>

■ SECがEDGARデータベースの後継システムを公表

米証券取引委員会(SEC)は1980年代に開発されたEDGARデータベースの後継システムを公表しました。このシステムはIDEA(Interactive Data Electronic Applications)と呼ばれ、投資家は公開企業およびミューチュアル・ファンドの主要な財務情報をより迅速かつ容易に入手できるようになることが期待されています。現在投資家はEDGARを通じて一度に一つのフォームのみの入手が可能です。新システムは企業が提供するインタラクティブ・データの活用が意図されており、SECはIDEAが投資家にEDGARよりも多くの便益、すなわち使い易い形式になった情報、何千社もの企業から多様な形式で提供される情報を即時に照合する機能、そしてどのような様式でもレポートや分析を作成できる機能等を提供することを期待しています。今年前半にSECは米国企業に対し早ければ来年からインタラクティブ・データを使って財務情報を提供することを義務付けることを提案しています。

▼ IDEAに関するより詳細な情報は、SECウェブサイトに掲載されたプレスリリースをご覧ください。

<http://www.sec.gov/news/press/2008/2008-179.htm>

■ FASB関連記事

会議の議事録: FASBは8月6日に会議を開催し、FASB職員意見書草案 No. FAS 133-b and FIN 45-c「クレジット・デリバティブおよび特定の金融保証の開示: FASB職員意見書第133号およびFASB解釈指針第45号の修正」に対して寄せられたコメントについて議論しました。具体的には、適用範囲、開示、適用日についての議論が行われました。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=EDYR-7HJ3YE&SecNavCode=ASPP-4MMP8M&ContentType=Content>

プロジェクトの更新: FASBは以下のプロジェクトの概要を更新しました。

- 資本的性格を有する金融商品
http://www.fasb.org/project/fi_with_characteristics_of_equity.shtml
- バリュエーション・リソース・グループ
http://www.fasb.org/project/valuation_resource_group.shtml

Weekly Action Alert: Action Alert No. 08-34 は以下のFASBウェブサイトからご覧いただけます。
<http://www.fasb.org/action/aa082108.shtml>

お問い合わせ: あらた監査法人(広報)

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号
新丸の内ビルディング32階(〒100-6532)
電話: 03-6858-0179(直通)
メールアドレス: aaratapr@jp.pwc.com

あらた監査法人は、世界 150 カ国に 146,000 人のスタッフを擁するプライスウォーターハウスクーパース(PwC)のメンバーファームです。PwC のメンバーファームとして、会計および監査において PwC の手法に完全に準拠した国際的なベストプラクティスを採用し、PwC のグローバルネットワークで培われた経験、専門知識、リソースを最大限に活用し、日本において国内企業および国際企業に対して、国際水準の高品質な監査を提供していきます。

© 2008 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to the Japanese firm of PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate and independent legal entity.